

# Mag Swipe Configuration Utility

## 使用説明書



## インストール

### 1. ID Tech

ID Tech のホームページから MagSwipe Configuration Utility 、 80066804-006 をダウンロードします。

- [http://www.idtechproducts.com/download/swipe-readers/cat\\_view/94-swipe-readers/101-minimag-ii-mag-stripe-reader-idmb-series/133-keyboard-wedge-idmb-3331xx-series/227-software.html](http://www.idtechproducts.com/download/swipe-readers/cat_view/94-swipe-readers/101-minimag-ii-mag-stripe-reader-idmb-series/133-keyboard-wedge-idmb-3331xx-series/227-software.html) から Configuration Software をダウンロード

Setup.exe を実行してインストール開始。

インストール後、MagSwipe から MagSwipe Configuration Utility をクリック

下記 MagSwipe Configuration Utility が起動します。

はじめに

## ユーティリティの使い方

本設定ユーティリティを使用すると、特別な設定を簡単に行うことができます。お使いのリーダのインターフェースがキーボードウェッジの場合、設定ユーティリティと、PortTalk ポートのデバイスドライバ (porttalk.sys) の 2 つのファイルを必ずダウンロードしてください。RS-232 や USB の場合は設定ユーティリティだけが必要です。

1. 設定ユーティリティと PortTalk ドライバ (必要な場合) を、ローカルドライブの Program Files フォルダにダウンロードします。
2. リーダをホストコンピュータに接続し電源を確保します。
3. 設定ユーティリティを起動します。
4. 「SELECT READER INTERFACE」. をクリックして、新規フォームをオープンします。
5. リーダとホスト間の接続コネクタに応じた適切なインターフェースを選択します。(この手順をはぶくと、自動的に前回選択したインターフェースが選択されるか、適切な USB インターフェースが選択されます。)
6. 設定ユーティリティが、自動的に正しいポートを決定します。
7. 「CONTINUE」を選択します。(キーボードウェッジリーダの初回インストールの場合、PortTalk がこの時点で自動的にインストールされます。) 設定ユーティリティのメイン画面が表示されます。
8. 次に、設定ユーティリティでリーダを設定します。リーダの現在の設定を確認するには、「CHECK CURRENT READER SETTINGS」をクリックして、リーダ設定、インターフェースタイプ、ファームウェアバージョンを表示します。
9. ビープ音のボリューム、読取り方向、RS-232 パラメータなどの基本設定を変更するには、「CHANGE BASIC READER SETTINGS」をクリックします。リーダの設定を他のリーダに応用するには、リーダをデータ編集用または別個の出力フォーマットに設定するか、チップを APPLICATION モードから BOOT LOADER モードに切り替え、「CHANGE ADVANCED READER SETTINGS」に切り替えます。
10. 変更したい設定を含むページを選択します。
11. 変更したい選択をクリックします。(特定のページの設定をデフォルト値に戻すには、「DEFAULT」をクリックします。リーダの全設定をデフォルト値に戻すには、「DEFAULT ALL」をクリックします。

12. 選択を終了したら「**SEND TO MSR**」をクリックして、変更をリーダに送信します。リーダ側の応答は常に以下ようになります。

ゆっくりとしたビープ音 1 回は、リーダがホストコマンドをアクセプトして設定を保存し、設定モードを正常に終了したことを示します。

ビープ音 2 回は、入力されたコードが不正でリーダに拒絶されたことを示しています。

ポップアップウィンドウが表示されると、設定がリーダに正常に書き込まれたことを確認できます。

13. 設定を後で使用するために保存するには、「**SAVE TO FILE**」をクリックします。

14. 保存してある設定をロードするには、「**LOAD FROM FILE**」をクリックして目的の設定ファイル（.cfs2）を指定し、「**SEND TO MSR**」をクリックしファイルをリーダに送信します。

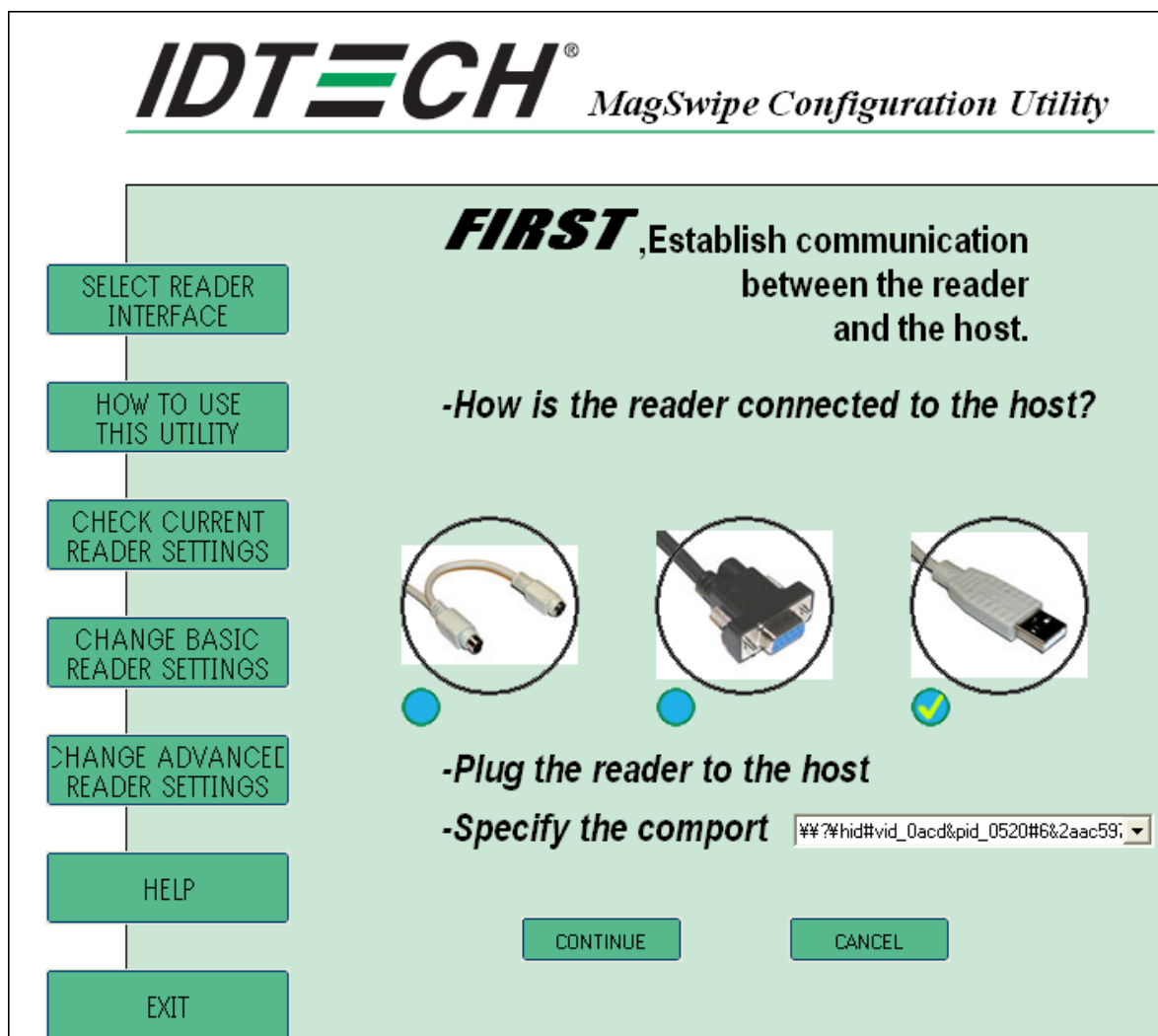
15. 設定ユーティリティを終了するには、「**CLOSE**」をクリックしてメイン画面に戻り「**EXIT**」をクリックします。

#### デフォルト設定

リーダ出荷時には、デフォルト設定はプログラム済みです。デフォルトではリーダはなるべく制約の少ない設定にプログラムされており、ほとんどの標準フォーマットの磁気ストライプカードを初期設定のままで読み取ることができます。

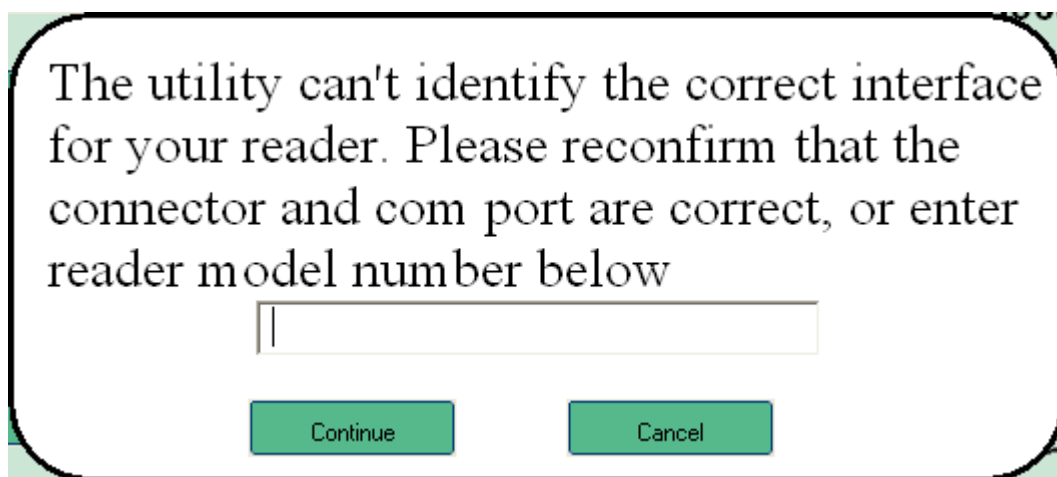
リーダの出力データフォーマットは、ホストアプリケーションのニーズに合わせて再設定できます。リーダを工場出荷時デフォルト設定に戻すには、「**CHANGE BASIC READER SETTINGS**」をクリックし、画面下部の「**DEFAULT ALL**」をクリックします。リーダの設定を確認するには、メイン画面に戻り、「**CHECK CURRENT READER SETTINGS**」をクリックします。

リーダ PC に接続、インタフェースを選択します。



CONTINUE をクリック

適切なインタフェースを選択し、CONTINUE をクリックしても、アクセプトされなかった場合は下記画面がポップアップしますので、リーダの型番を直接入力して Continue をクリックしてください。



CHECK CURRENT READER SETTINGS をクリックすると、接続されているリーダのファームウェアバージョン等を確認できます。

# IDTECH<sup>®</sup> MagSwipe Configuration Utility

SELECT READER  
INTERFACE

HOW TO USE  
THIS UTILITY

CHECK CURRENT  
READER SETTINGS

CHANGE BASIC  
READER SETTINGS

CHANGE ADVANCED  
READER SETTINGS

HELP

EXIT



*ID TECH readers come with default settings made at the factory. These settings are suitable for most applications and do not need to be changed. However, if you need to change something basic (like beep volume) or something more advanced (like a data editing routine), this utility will help you do it easily and quickly. Start by clicking on one of the tabs on the left side of this page.*

表示される磁気リーダの情報は下記の様に表示されます。

```
=====Check Current MagSwipe Settings=====
Software version: MagSwipe Configuration Utility Version 2.0.17
Beep Volume: HIGH
Track Select: Any Track
Track Separator: #cr
Data Format: IDT Format
USB HID Format: ID TECH USB HID KB Data Format
Terminator: #cr
Send Out Format:
    Send Start/End Sentinel
    Send All Data For Track2
    Not Send Error Indication
    Not Send LRC
Enable/Disable MSR: Enabled
Format & Direction: Decoding In Two Swiping Direction
Track 1 7 bit encoding Start Sentinel: %
Track 1 6 bit encoding Start Sentinel: %
Track 1 5 bit encoding Start Sentinel: %
Track 2 7 bit encoding Start Sentinel: %
Track 2 5 bit encoding Start Sentinel: %
Track 3 7 bit encoding Start Sentinel: %
Track 3 6 bit encoding Start Sentinel: !
Track 3 5 bit encoding Start Sentinel: ;
End Sentinel: ?
Preamble:
Postamble:
Data Edit-CreditCard:
Data Edit-CDL:
Data Edit-AAMVA:
Data Edit-Customized:
USB HID KB Poling Interval: 1

INTERFACE_TYPE: USB-HID-KB
Firmware Version: ID TECH MM II USB HID KB Reader V 2.05
```

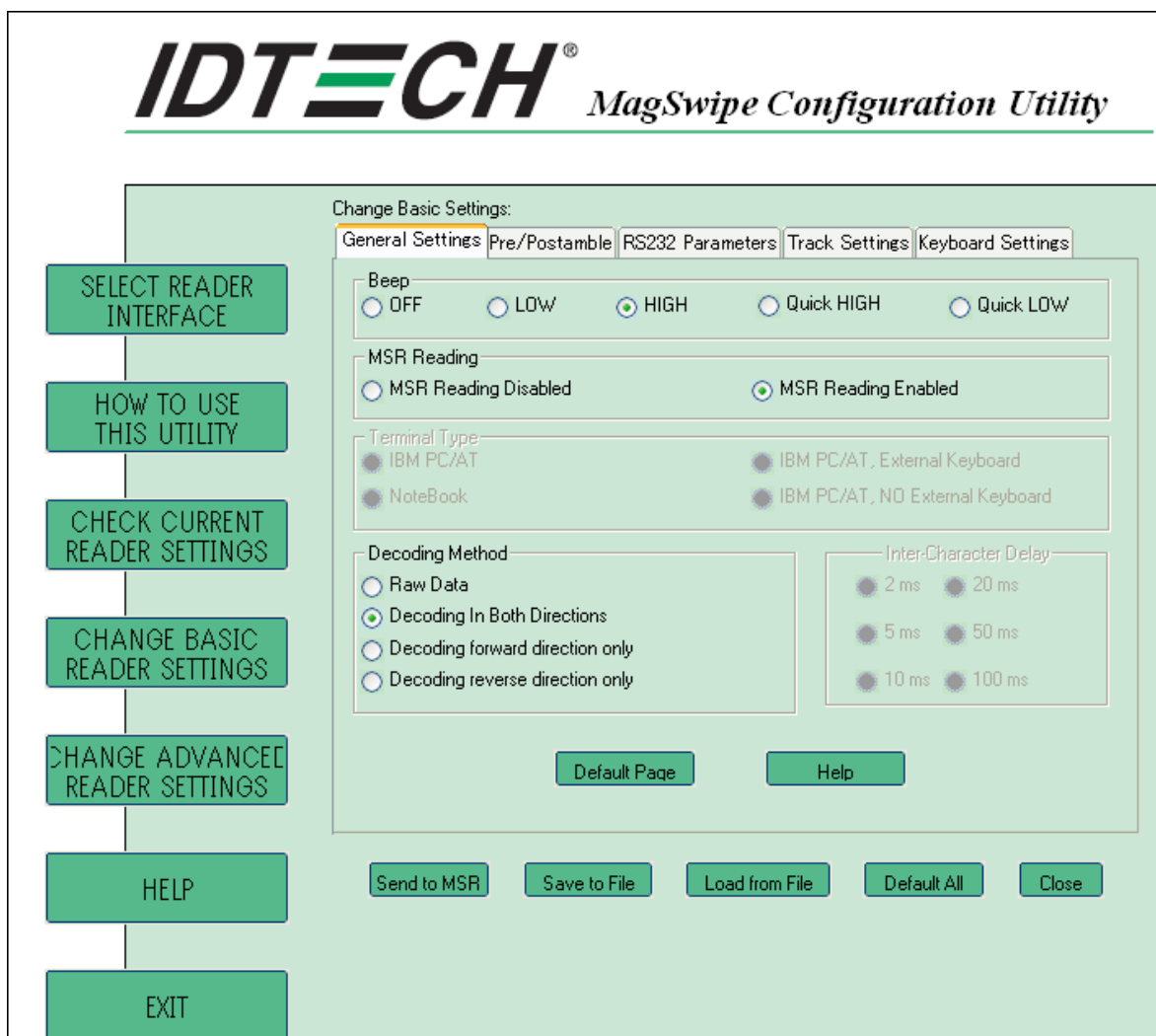
OK

## Change Basic Setting

CHANGE BASIC READER SETTINGS をクリックすると下記画面が表示されます。

Change Basic Setting では、接続された磁気カードリーダーの基本パラメータ設定及びデータ出力フォーマットの定義ができます。

- General Settings では、ビープ音の設定が可能です。
- Pre/Postamble では各トラックの Prefix/Suffix と Preamble/Postamble の設定が可能です。
- RS232 Parameters では RS232 インタフェース製品の通信等の設定が可能です。
- Track Settings では読取りトラックの設定が可能です。
- Keyboard Settings ではキーボード入力の設定が可能です。



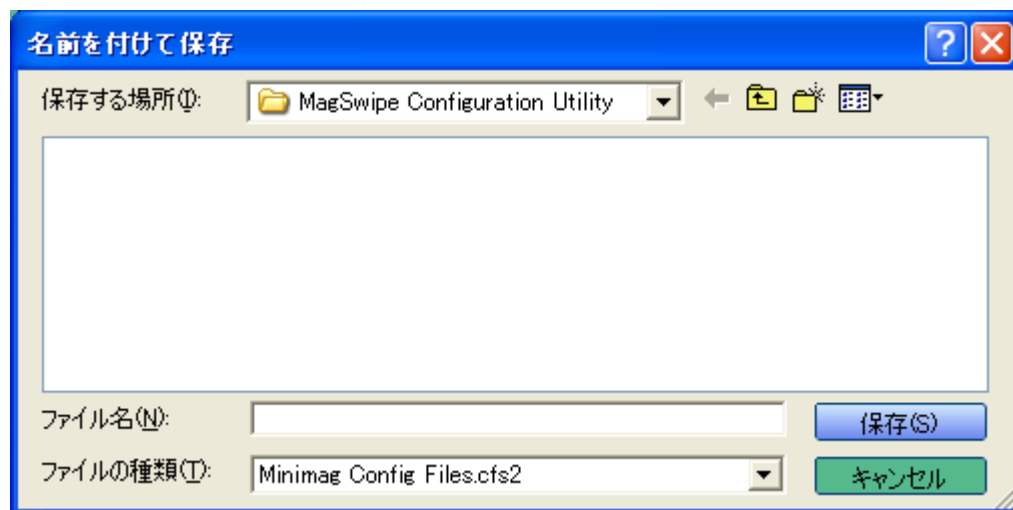
### Send to MSR

Send to MSR ボタンをクリックする事により、各画面で設定したコンフィグデータをリーダーに送る事が出来ます。正しくデータが送られたらリーダーには直ぐにデータが反映されます。

## Save To File

ファイルするために保存してください。

コンフィギュレーション・データはファイルとして保存することができ、他のリーダに設定をするために後で保存したファイルを使用することができます。



## Default All

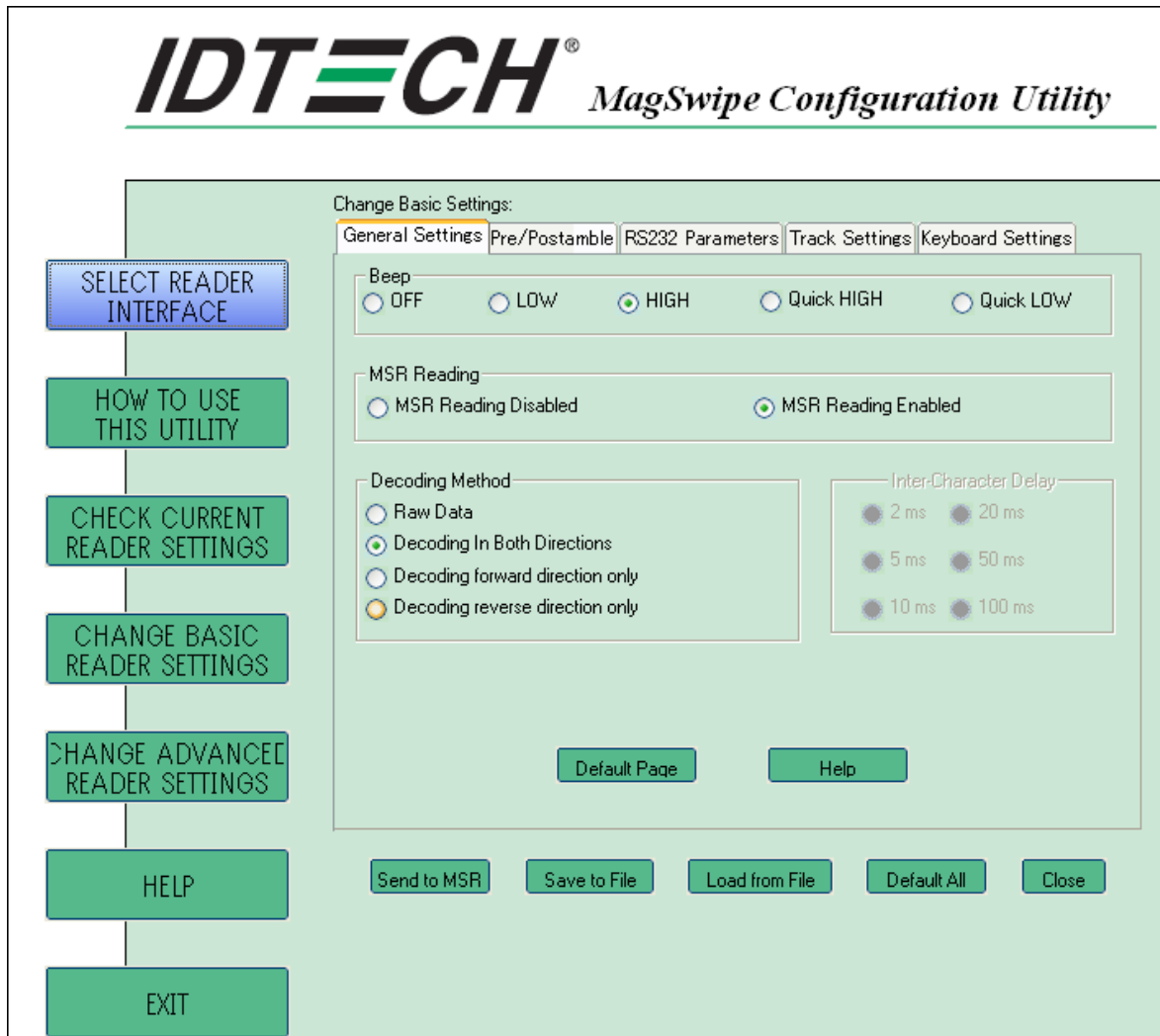
このボタンはデフォルト設定パラメーター(デフォルト出荷時設定)にリーダをセットします。セッティングは直ちにリーダに反映されます。

## Close

Change Basic Setting を閉じて、このツールのホーム・メニューに戻ります。

## Change Basis Setting

### General Settings



#### MSR Reading

このオプションはリーダの読取りをオン・オフする設定です。

MSR Reader Disable を選択した場合、データはどんな場合もホストに送られません  
デフォルトは読取りオンになっております。

#### Decoding Method

このオプションは、4 種類の読取り方法を設定出来ます。

Raw Data 前方・逆方向、両方の Raw データ読取りを行います。

Decoding In Both Directions 両方向に読取りを行います。

Decoding forward direction only リーダにある LED ランプ方向からの読取りを行います。

Decoding reverse direction only リーダにある LED ランプの逆方向からの読取りを行います。

Raw Data は、16 進法のフォーマット(ASCII 文字転換は行なわれません)でデコードされた磁気ストライプ・データの出力です。

Raw Data セッティングでは、リーダはデコードされたデータをすべて出力します。



## **Beep Volume**

Beep Volume ではリーダを 4 つの音の大きさのレベルに調節することができます。

4 つの音の大きさのレベルは次のとおりです:

Quick High

Quick Low

High

Low

デフォルトの設定は High になっています。

## **Terminal Type**

Keyboard wedge で接続した場合 Terminal Type は 4 つのファームウェアを下記から選択可能です。

Note Book

IBM-PC/AT

IBM-PC/AT, External keyboard

IBM-PC/AT, No External keyboard

デフォルト設定は IBM-PC/AT になっています。

## **Inter-Charater Delay**

Inter-Charater Delay では 2ms, 5ms, 10ms, 20ms, 50ms, 100ms を選択可能です。

リーダがホストへデータを送るタイミングの設定が可能です。

いくつかのターミナルあるいはホストは、デコードしたデータを送るタイミングを要求するものがあります。

より長い Inter-Charater Delay を選ぶと、文字はより遅い速さで送られます。

デフォルト設定は 2ms です。

## **Default Page Button**

Default Page Button では、設定を全てデフォルト値にもどします。リーダへの反映には Send to MSR をクリックしてください。

## Change Basis Setting

### Pre/Postamble

Change Basic Settings:

General Settings Pre/Postamble RS232 Parameters Track Settings Keyboard Settings

Track Start/End Sentinels:

Bits#Track	Track 1	Track 2	Track 3
7 Bits Start Sentinel	%	%	%
6 Bits Start Sentinel	%	INVALID	!
5 Bits Start Sentinel	:	:	:
End Sentinel	?	?	?

Output String Non-Printable Characters

Track 1 Prefix

Track 1 Suffix

Track 2 Prefix

Track 2 Suffix

Track 3 Prefix

Track 3 Suffix

Preamble

Postamble

Default Page Help

Send to MSR Save to File Load from File Default All Close

#### Preamble

Preamble では読み取ったデータの先頭に、キャラクタを設定する事が出来ます。

9 つまでの ASCII 文字を定義可能です。

#### Postamble

Postamble では読み取ったデータの最後にキャラクタを設定する事ができます。

#### Track Prefix and Suffix

Track Prefix and Suffix では、各トラック毎に、Prefix と Suffix を設定可能です。

各 Prefix と Suffix では 6 つのキャラクタ文字まで設定可能です。

#### Track Start /End Sentinels

##### Track Start Sentinels

Track Start Sentinels では、各トラックデータに特別な文字を設定可能です。

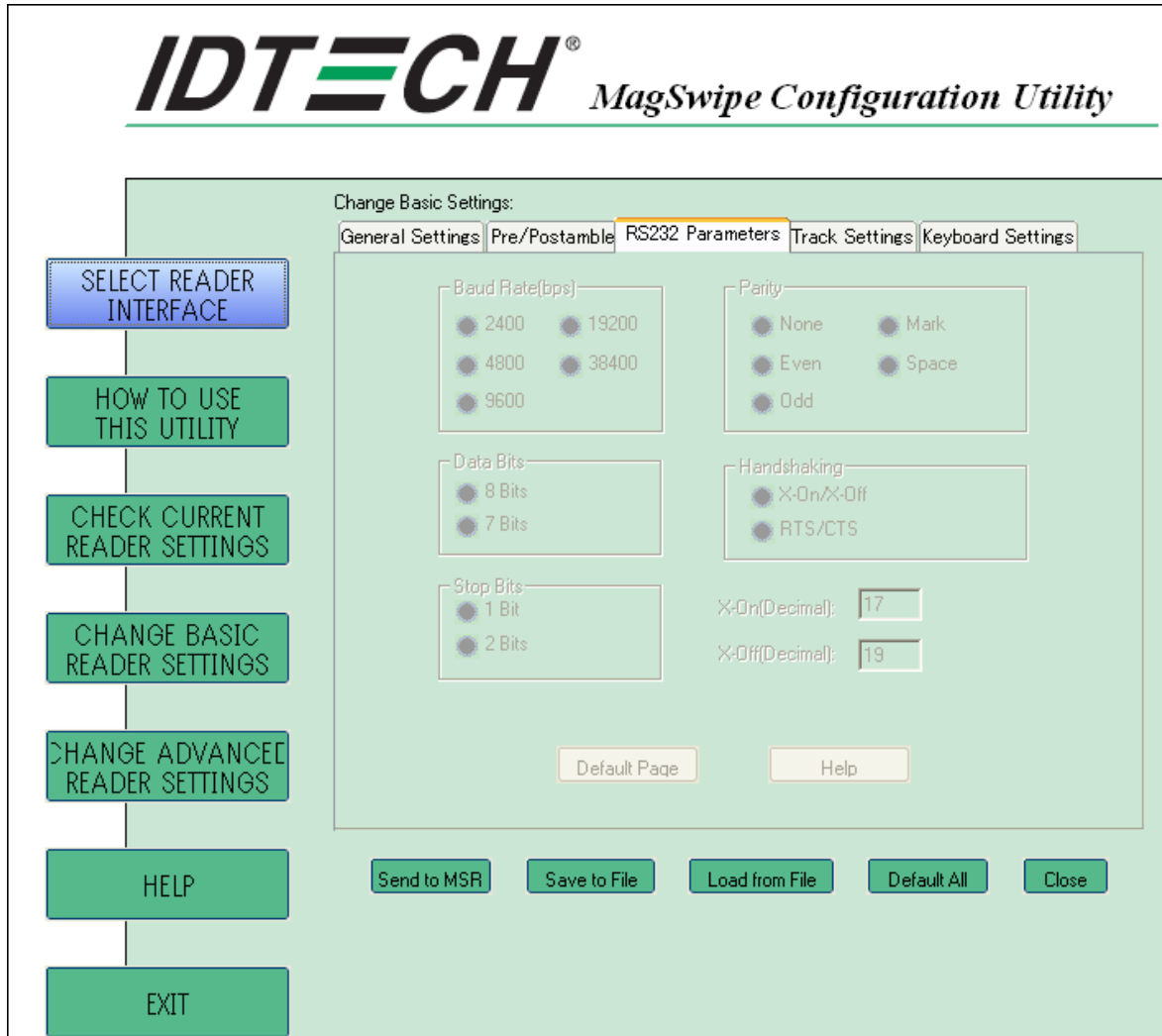
##### End Sentinel.

End Sentinel では各トラックで読み取ったデータの最後に特別な文字を設定可能です。

デフォルトの設定値は'?'です。

## Change Basis Setting

### RS232 Parameters



#### Baud Rate Setting

Baud Rate Setting では RS232 データの送受信のボーレートを設定します。

ボーレートは 2400bps、4800bps、9600bps、19200bps および 38400bps が設定可能です。

デフォルト値は 9600bps です

#### Data Bit Setting

Data Bit Setting ではデータビットを 7 ビットか 8 ビットに設定可能です。

デフォルト値は 8 ビットです。

#### Parity Setting

Parity Setting では RS232 通信のパリティーチェックビットを設定可能です。

チェックビットでは”Odd”か”Even”を選択可能です。パリティビットでは、”Mark”か”Space”を選択可能です。

”None”を選択するとパリティビットは設定されません。

デフォルト値は”None”です。

## **Handshaking Setting.**

Handshaking Setting では 2 つの RS232 接続機器の間でホスト側へのご送信を防ぐ設定が可能です。ホスト側の準備できているまで、"handshake"シグナルがデータのフローを中断するので、これは "flow control"とも呼ばれています。

使用することができるシグナルは 2 つのタイプの "handshake" シグナルがあります。

一つは、通信するパートナー(X オン/X オフ)間で送信されたソフトウェア・コマンドに基づきます。

他の一つは 2 つの装置(RTS/CTS)間でハードワイヤードの電圧レベルを使用します。

デフォルトは X-On/X-Off です。

X-On/X-Off "handshake" シグナルは、リーダのステータスを通信するために特殊文字を使います。

リーダから送られた X-On "handshake" シグナルは、ホストがデータを受け取る準備ができており、その一方で X-Off "handshake" シグナルが、データ送信をすべてサスペンドするようにそれに命じます。

RTS/CTS(Request-To-Send /Clear To Send) "handshake" シグナルは、リーダのステータスを通信するために RS232 インタフェース・ケーブルの中の RTS/CTS ピンを使用します。

このオプションが選択した時に、RTS "handshake" シグナルは、リーダからデータを送信する前にホストからの CTS "handshake" シグナルをチェックします。

CTS "handshake" シグナルがアクティブの場合、リーダはデータをホストに送信しません。

"handshake" シグナルコントロールを使用しない場合は、X-On/X-Off・モードを選択してください。

## **Stop Bit Setting**

Stop Bit Setting は、各キャラクタの終わりに使用されるビット数を定義します。

1bit または 2bit のストップビットは選択することができます。

デフォルトは 1bit です。

## **X-on Character Setting**

X-on Character Setting は、X-on の ASCII コードのおキャラクタを設定出来ます。

デフォルト値は DC1 です。

## **X-off Character Setting**

X-off Character Setting は X-off の ASCII コードのおキャラクタを設定出来ます。

デフォルト値は DC3 です。

## Change Basis Setting

### Track Settings

Change Basic Settings:

General Settings Pre/Postamble RS232 Parameters **Track Settings** Keyboard Settings

Track Select

Any Track  Track1 Only  Track2 Only

Track1 And Track2  Track3 Only  Track1 And Track3

Track2 And Track3  All Three Tracks  Track1 Or Track2

Track2 Or Track3

Send Start/End Sentinel  Send LRC in Card Data

For Track 2 Only Send Account Number

Send Error Indication

Track Separator: #cr Non-Printable Char: [Dropdown]

Terminator: #cr Non-Printable Char: [Dropdown]

Default Page Help

Send to MSR Save to File Load from File Default All Close

#### Track Select.

Track Select では 3 トラックのデコード情報の設定ができます。

このオプションは、デコードされるリーダのトラックを選択します。

指定されたトラックを読むために、リーダにはハードウェア・コンフィギュレーション(読取りヘッドと回路)対応の製品である事を御確認ください。

シングルトラック、デュアルトラックのリーダを使用する場合、ヘッドがこのオプションによって選択されたトラックをデコードするようにします。

デフォルトは全てのトラックが読取り可能になっています。

#### Track Separator Selection

Track Separator オプションは、ユーザがマルチトラック・リーダによってデコードされたデータをそれぞれ分類するためにキャラクタを選択可能にします。

デフォルト値は CR です。

#### Send Start/End Sentinel

Send Start/End Sentinel を有効にするとリーダはエラーなしでデコードし情報を送る事ができます。

## Send LRC in Card Data

Send LRC in Card Data を有効にすると、リーダはデコードされた情報を LRC(Longitudinal redundancy check)に送ることができます。

## For Track 2 only Send Account Number

For Track 2 only Send Account Number を有効にすると、リーダはアカウント番号だけを送ることができます。

## Send Error Indication

Send Error Indication を有効にすると、エラー表示を送ります。

読取りエラー、データ欠損があった場合リーダは[SS]E[ES]を送ります。

トラック 1 でエラーがあった場合、"%E?".を送ります。

トラック 2 でエラーがあった場合、";E?".を送ります。

トラック 3 でエラーがあった場合、"+E?".を送ります。

## Change Basis Setting

### Keyboard Settings

The screenshot displays the 'IDTECH® MagSwipe Configuration Utility' software. The interface is divided into a left sidebar with navigation buttons and a main content area. The sidebar buttons are: SELECT READER INTERFACE, HOW TO USE THIS UTILITY, CHECK CURRENT READER SETTINGS, CHANGE BASIC READER SETTINGS, CHANGE ADVANCED READER SETTINGS, HELP, and EXIT. The main content area is titled 'Change Basic Settings:' and has five tabs: General Settings, Pre/Postamble, RS232 Parameters, Track Settings, and Keyboard Settings (which is currently selected). The Keyboard Settings tab contains the following options:

- Language Option:** A group of radio buttons for selecting a language: US (selected), Spanish(Mexico), German, UK, Swiss, Norwegian, French, Universal, Swedish, Italian, and Japanese.
- Function Key Output:** A group of radio buttons: Ctrl Key Output (selected) and Alt Key Output.
- USB HID KB Polling Interval:** A text input field with the value '1' and a note '(Input value is from 1 to 255)'. Below this field are 'Default Page' and 'Help' buttons.

At the bottom of the main content area, there are five buttons: Send to MSR, Save to File, Load from File, Default All, and Close.

## **Keyboard Settings**

磁気カードのキーボード設定を行えます。

MiniMag II は PS/2、USB-HID キーボード・インターフェースのための外国語キーボードおよびファンクション・キーをサポートします。

## **Language Option**

このオプションは、ユーザが英語、スウェーデン語、ノルウェー語、イタリア語、スペイン語(メキシコ)、ドイツ語、フランス語、日本語、およびユニバーサルキーボード言語を選択することを可能にします。

## **Function Key Output**

Function Key Output は、読取ったデータの出力時に特殊キーをサポートするために設定します。

## Change Advanced Setting

CHANGE ADVANCED READER SETTINGS をクリックすると下記画面が表示されます。

Change Advanced Setting では接続された磁気リーダーの下記設定が可能です。

- ・ Output Format では、Data Format の設定が可能です。
- ・ Data Editing では Data の Edit 設定が可能です。
- ・ Quick Clone では、設定したパラメータを簡単に磁気リーダーへコピーが可能です。
- ・ Manual Command では、マニュアルでコマンドを磁気リーダーへ送る事が可能です。
- ・ Set Boot Loader Mode はファームウェアの更新等に使う事が可能です。

